

## <ごあいさつ>

### FOOMA JAPAN 2017 展示会実行委員会 委員長 海内 栄一（うみうち えいいち）

一般社団法人日本食品機械工業会は、平成29年6月13日（火）から16日（金）の4日間、東京ビッグサイトにおいて「FOOMA JAPAN 2017 国際食品工業展」を開催いたします。

FOOMA JAPANは、食品製造プロセスのあらゆる分野を網羅した、アジア最大級の「食の技術」の総合トレードショーとして着実に成長発展してまいりました。例年10万人規模の来場者を数え、また近年はアジア地域をはじめ、海外からの来場者も増加傾向にあるなど、国内外から一層注目を集める展示会となっております。

歴史を重ねて40回目の開催となる今回は、出展を希望される多くの方々の要望に応えて、東京ビッグサイトが新設した東7・8ホールを加え、東展示棟の1～8ホール全てを使用いたします。会場面積をおよそ1.3倍に拡大、出展社は前回より89社増え、775社が一堂に会する、FOOMA JAPAN過去最大の出展社数で開催することとなりました。

FOOMA JAPANは、特定の分野に集中することなく、「食」に関わるすべての分野を網羅した他に類を見ない総合展示会です。FOOMA JAPANは、新製品・新技術の発表の場と情報交換の場として、多くの関係者より高い期待をお寄せいただいております。最新の食品機械の実力・進化をいかに発揮する舞台として、ビジネスのさらなる飛躍に貢献できるものと考えております。

FOOMA JAPAN 2017のテーマは、「食の未来への羅針盤。」です。食品産業における生産性向上や高効率化・高品質化のための技術、自動化、省人化を図るロボット技術、高度な安全・衛生管理など最先端のテクノロジーを通じて、食の未来への道筋を提示していきます。また、今回は国際化への取り組みとして、中国、台湾、デンマーク3ヶ国の出展パビリオンを新たに設置するなど、より多彩かつグローバルな提案ができることに主催者として大きな喜びを感じております。

FOOMA JAPAN 2017は、食品ビジネスに携わる方々の情報収集や技術交流の場として、出展社プレゼンテーションセミナーをはじめ豊富なテーマによるセミナーを設けています。FOOMA JAPANならではの機会をお役立ていただき、食品関連業界の皆様方にとってビジネスに有益な情報を会得していただきたいと思っております。

最後に、東京オリンピック開催時期のFOOMA JAPANに関してですが、東京ビッグサイトは東京オリンピック・パラリンピックのメディアセンター等に使用されることとなっており、展示会場としての利用は準備のための2019年と開催年の2020年の両年については展示会開催が極めて困難と予測しておりました。しかしながら、FOOMA JAPAN 2019の開催につきましては西展示棟と現在西展示棟の隣に建設中の南展示棟を使用して、2019年の7月9日（火）～12日（金）の会期で開催する運びとなりました。FOOMA JAPANの東京ビッグサイトでの開催は、出展社・来場者の皆様からの強い要望であり、この要望にお応えできたかと思っております。

なお、2018年につきましては例年通り東京ビッグサイト東展示棟1～8ホールを使用して、6月12日（火）～15日（金）に開催する予定です。

また、2020年につきましては、東京オリンピック・パラリンピックの開催年でもあり、現在具体的なお話をできる状況にありませんことをご了承くださいますようお願いいたします。

## <開催概要>

- 名称：FOOMA JAPAN 2017 国際食品工業展  
2017 INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION
- 目的：食品機械・装置および関連機器に関する技術ならびに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することとし、「食の安全・安心」に関心が高まる中、食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスを通して、「食の技術が拓く、ゆたかな未来」を提案する。
- 会期：2017年6月13日（火）～16日（金）の4日間 10:00～17:00
- 会場：東京ビッグサイト 東展示棟（1～8ホール）
- 規模：775社／4,565単位 34,237㎡（予定）<前回：686社／28,492㎡>  
※出展社数は共同出展社を含む
- 来場者数：94,497人（2016年実績）
- テーマ：食の未来への羅針盤。
- 主催：一般社団法人 日本食品機械工業会
- 後援：経済産業省／農林水産省／厚生労働省／東京都／日本貿易振興機構（予定・順不同）
- 公式サイト：<http://www.foomajapan.jp>

## 【一般社団法人 日本食品機械工業会 概要】

- 名称：一般社団法人 日本食品機械工業会（略称：日食工）  
The Japan Food Machinery Manufacturers' Association（略称：JFMA）  
<http://www.fooma.or.jp>
- 所在地：〒108-0023 東京都港区芝浦3-19-20 ふーまビル  
TEL：03-5484-0981 FAX：03-5484-0989
- 設立：1948年（昭和23年）4月20日
- 役割：日食工は、食品機械に関する調査研究や情報収集・提供、標準化と安全・衛生化などの事業推進を通じて、食品機械工業の発展と国民生活の向上に貢献することを目的としています。
- 会長：林 孝司（関東混合機工業株式会社 代表取締役会長）
- 沿革：日食工は1948年の「全国食糧機械製造業者懇談会」設立に始まり、1954年「日本食糧機械工業会」と改称、1967年社団法人として認可され、その5年後に現在の名称へ変更、2012年一般社団法人に変更し今日に至っています。
- 会員：【正会員】  
食品機械（精米機械、精麦機械、製粉機械、製めん機械、製パン機械、製菓機械、醸造用機械、牛乳加工機械、飲料加工機械、肉類加工機械、水産加工機械、製茶用機械、豆腐製造機械、調理食品加工機械、配合飼料その他食品及び飲料の加工機械等）の製造を営む法人及び個人並びにこれらのものを構成員とする団体。

### 【賛助会員】

正会員に該当しないもので、日食工の目的に賛同し、その事業に協力しようとするもの。

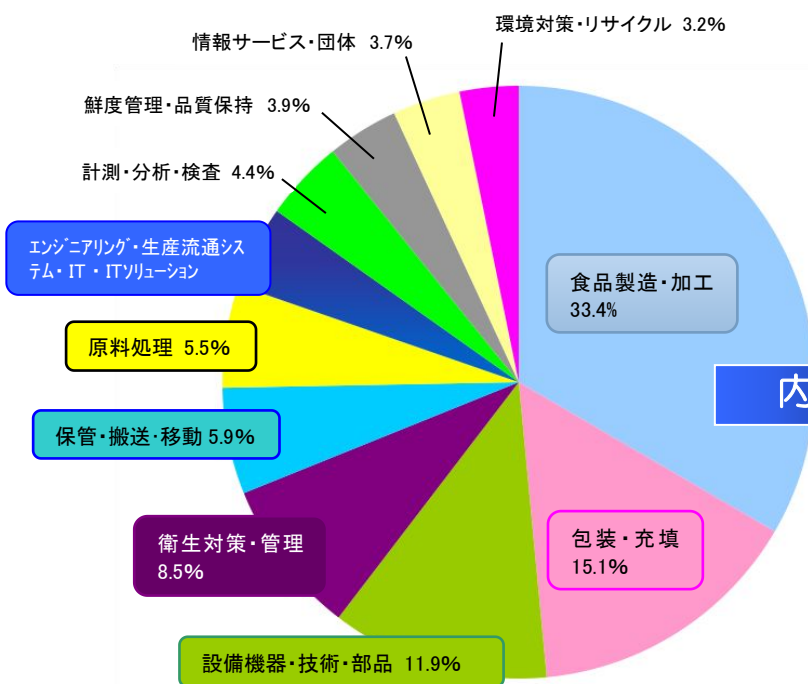
## 今回のポイント

### ①会場面積を1.3倍に拡大。出展社数（775社）は過去最大。新規出展は84社。

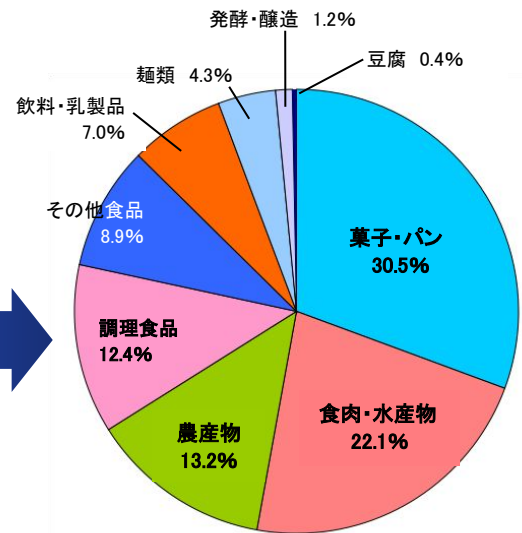
今回の総出展社数は775社（前年比+89社）で、このうち新規出展は84社（前年比+50社）。総出展面積は34,237㎡（前年比+5,745㎡）となりました。

出展社数を分野別にみると、一番多いのは「食品製造・加工」分野（258社／33.4%）で、次いで「包装・充填」分野（117社／15.1%）、3番目は「設備機器・技術・部品」分野（92社／11.9%）です。最多の「食品製造・加工」分野の細目別割合の上位は、「菓子・パン」（30.5%）、「食肉・水産物」（22.5%）、「農産物」（13.2%）、「調理食品」（12.3%）などでした。

＜分野別出展社数割合＞



＜食品製造・加工分野の細目別割合＞



内訳

### ☆現場の課題に対応した新製品やFOOMA JAPAN 初披露製品などが多数登場！

安全性や衛生管理はもちろん、正確性やスピードアップによる生産性向上など製造現場のニーズはますます多様化し、ハイレベルな対応が求められています。その一方で人手不足や環境対策などの課題に直面しているところも少なくありません。

今回も出展各社は、省人化や省力化、効率化、省エネ化などに対応した新製品（120社超140製品以上）やFOOMA JAPAN 初披露製品（110社超140製品以上）などが数多く展示されます。

そして、手立での動きを再現したシェーキングミキサー（関東混合機工業）、業界最速でシャリ玉を作るロボット（鈴茂器工）、番重詰め作業の自動化をロボットシステムで実現（安川電機）、ナッツ類のトッピングを自動化（とち財団）、超音波ケーキカッター（フルハートジャパン）など、多数の企業が多種多様な機械の実演を予定しています。

※別添資料（見得情報）参照

## ☆分野別出展社数（共同出展社含む）と展示物

- ★原料処理 . . . . . 43社 1,980㎡  
混合・攪拌・混練機、粉碎・分級・造粒機、ふるい機・網、乾燥機、殺菌装置、熱交換機、脱水機、ニーダー、ホモジナイザー、開袋機など
- ★食品製造・加工 . . . . . 258社 13,830㎡
  - ・「菓子・パン」 . . . 79社 5,077.5㎡  
オープン、ミキサー、焼成機、成形機、デポジッター、ドゥコンディショナー、蒸し器、包・製あん機、コーティング機、テンパリング機、スライサー、製パンラインなど
  - ・「食肉・水産物」 . . . 57社 3,112.5㎡  
スライサー、カッター、チョッパー、ダイサー、テンダーライザー、ミキサー、成形機、ソーセージ・ハム充填機、ハンバーグ成形機、インジェクター、スタッパー、タンブラー、魚体処理機など
  - ・「麺類」 . . . 11社 517.5㎡  
製麺機、即席麺製造プラント、パスタ製造機、餃子・ワンタン・焼売・包子製造装置、茹上機など
  - ・「調理食品」 . . . 32社 1,965㎡  
オープン、フライヤー、炒め機、蒸し機、焼成機、加熱攪拌機、炊飯機、寿司ロボット、寿司・おにぎり製造・包装機器など
  - ・「飲料・乳製品」 . . . 18社 810㎡  
飲料プラント、濾過装置、果汁飲料製造装置、搾汁機、飲料充填機、飲料滅菌装置、濃縮装置・乳化装置など
  - ・「農産物」 . . . . 34社 997.5㎡  
野菜・果物洗浄機、精米機器、洗米機、カッター、スライサー、千切り機、皮むき・芯取り機、選別機、異物除去装置、割卵機など
  - ・「豆腐」 . . . . 1社 15㎡  
豆腐プラント、豆乳プラント、脱臭機、フライヤーなど
  - ・「発酵・醸造」 . . . 3社 142.5㎡ 蒸留装置、圧搾機、均質機、乳化装置、発酵用タンク、発酵室、製麹機など
  - ・「その他食品」 . . . 23社 1,192.5㎡ 油濾過機、油塗装置、食品用印刷機、高圧食品製造機など
- ★エンジニアリング・生産流通システム・IT・ITソリューション . . . 35社 1,260㎡  
トレーサビリティ、RFID 関連機器、EDI（電子商取引）対応システム、工場設計・設備エンジニアリング、HACCP 管理システム、計測・制御システム、販売管理ソフト、生産管理・支援ソフト、ITソリューション提案、IoT/M2M など
- ★鮮度管理・品質保持 . . . . 30社 1,342.5㎡  
予冷・冷凍・冷却・凍結装置、解凍装置、チラー、冷蔵・保冷库、貯蔵設備、紫外線・オゾン応用装置、殺菌・滅菌装置、空調装置など
- ★包装・充填 . . . . 117社 8,032.5㎡  
各種包装機器、充填機、計数・計量機、結束機、シーラー、インクジェットプリンター、印字機、ラベルシール機、包装資材、ピッキングロボットなど
- ★保管・搬送・移動 . . . . 46社 1,860㎡  
コンテナ、コンベア、ベルト、チェーン、産業用ロボット、リフト、選別機、運搬車両、ホース、ポンプ、タンクなど
- ★計測・分析・検査 . . . . 34社 1,290㎡  
計測機器、分析機器、検査機器、検出機、測定・試験機器、画像処理機器、センサーなど
- ★衛生対策・管理 . . . . 66社 1,605㎡  
施設・容器・器具洗浄機器、クリーンルーム、シートキャッチャー、ユニフォーム、異物・害虫混入防止機器・装置、電解水生成機、洗剤・薬剤、衛生資材など
- ★環境対策・リサイクル . . . . 25社 292㎡  
排水処理装置、エネルギー有効利用システム、ごみ処理装置、コンポスト化機器・システム、乾燥機、再資源化処理装置・技術、減容機器、リサイクル機器、汚泥処理装置・技術など
- ★設備機器・技術・部品 . . . . 92社 2,355㎡  
ボイラー、バルブ・継手、ノズル、タンク、ホース、モーター、潤滑油、添加剤、熱風発生機、膜および膜利用技術、フィルター、食品工場用床材、床仕上工法、監視カメラ、LED 照明など
- ★情報サービス・団体 . . . . 29社 390㎡  
新聞・雑誌・書籍・ビデオ、調査・研究・試験、団体・機関、自治体など

合計 775社 34,237㎡

## ②注目のロボット関連技術は、新設の東7・8ホールに多数出展。

省人化、生産性向上のためにロボット導入への関心が高まっています。日本国内大手のロボット専門メーカーの製品をはじめ、今年は新設の東7・8ホールにロボット関連技術が多数登場します。

## ③国際化への取り組みを積極的に推進⇒外国パビリオン3館出展、JETRO 商談会開催等。

今回は東8ホール内にアジアから中国パビリオン（中国食品包装機械工業協会、上海嘉迪機械有限公司）と台湾パビリオン（台湾機械工業同業公会、兆麟機械股份有限公司、虹興機械股份有限公司）、ヨーロッパからデンマークパビリオン（デンマーク輸出協会、GERSTENBERG SERVICES A/S）の3か国が初めて出展します。

### ■日本貿易振興機構が海外バイヤーを招聘し「JETRO商談会」を開催

東8ホール内では、日本貿易振興機構（JETRO）がタイ、ベトナム、インドネシアなどの東南アジア諸国を中心とするバイヤーをFOOMA JAPAN 2017に招聘し、海外展開を計画している出展社との橋渡しをする「JETRO商談会 in FOOMA JAPAN」も実施します。

### ■新展開のグローバルスペース⇒海外進出を図る日本企業を積極的にサポート！！

輸出・投資など日本企業の海外進出を支援する「グローバルスペース（東8ホール内）」には、世界13カ国から15の駐日大使館、機関・団体等が出展。有力市場の動向や投資環境など、企業が海外に進出するために必須の最新情報を提供することで、ビジネスをグローバル市場に結び付けます。またイベントステージではグローバルスペース出展社及び関係海外機関によるミニセミナーを実施します。

さらに今回は、日本貿易振興機構（JETRO）、日本アセアンセンターなどが「海外市場・進出相談コーナー」を新設。海外進出を図る日本企業を一体となってサポートします。

- 【出展機関】①オランダ大使館 商務部②スペイン大使館 経済商務部③ポーランド共和国大使館貿易・投資促進部④アメリカ州政府協会（ASOA）⑤チリ貿易振興局⑥シンガポール政府観光局⑦タイ投資委員会（BOI）⑧ベカメックス（ベトナム・ビンズン省投資工業開発公社）⑨香港貿易発展局（HKTDCC）⑩マレーシア投資開発庁（MIDA）⑪インドネシア食品・飲料業者連盟⑫日印国際農業産業振興協会⑬日本貿易振興機構（JETRO）⑭日本アセアンセンター⑮東京都中小企業振興公社

### 【イベントステージタイムスケジュール】

6月14日(水)	参加機関	テーマ	講師
11:00～11:50	ベカメックス	ベトナムにおける日系食品・サービス産業の現地進出状況とビンズン省開発・企業誘致について	ベトナム・ビンズン省投資工業開発公社（ベカメックス）日本部長 植松完二氏
13:00～13:50	アメリカ大使館	米国食品市場トレンドと対米直接投資	アメリカ合衆国総領事館商務部 商務アシスタント 大橋 悠氏
14:00～14:50	香港貿易発展局	日本食の最大の輸出先「香港」の魅力とその活用方法	香港貿易発展局東京事務所 アシスタント・マーケティング・マネージャー 三島雅幸氏

6月15日(木)	参加機関	テーマ	講師
11:00～11:50	日本アセアンセンター	ASEANの社会構成と購買力(仮題)	日本アセアンセンター 貿易投資部 投資担当部長代理 中西宏太氏
13:00～13:50	日本貿易振興機構	ジェトロの事業紹介～初めて海外展開へ取り組む方へ(仮題)	日本貿易振興機構 ものづくり産業課 (講師未定)
14:00～14:50	オランダ応用科学研究機構	オランダ発の食と健康のインベーション課題	オランダ応用科学研究機構(TNO) 食と健康部門 日本代表 西出 香氏

## ■急増する海外からの来場者…昨年（4,012人）は一昨年（2,890人）の約1.4倍に！

昨年は中国を始めとして韓国、台湾など近隣諸国のみではなく、シンガポール、インドネシア、ベトナムなどアセアン諸国からの来場者が大幅に増加。北米・中南米、オセアニアなどからの来場者も増え、全体では一昨年（2,890人）の約1.4倍（4,012人）になりました。

一方、今回シンガポールはアセアン統合市場での競争力強化、日本製食品機械による生産性の向上、安全衛生の向上を目的としてシンガポール企画・生産性・革新庁、シンガポール生産性協会、シンガポール生産性センター、シンガポールレストラン協会などが団体で来場する予定です。

## ④新たな JAS 規格の活用方法について『農林水産省FOOMA特別講演会』を開催！

JAS規格は食品の製造、保存・保管、輸送、販売を行う事業者の商品、技術、取組のレベルやこだわりといった「魅力」を見える化し、説明や証明、アピールのツールとして使いやすいものへと生まれ変わります。ビジネスシーンにおけるJAS規格の活用アイデアについて事例を含めて紹介するとともに、ビジネスニーズに応じ事業者からJAS規格を提案できる手続きも紹介します。

テーマ：「自社の魅力をJAS規格でアピール!! ～新たなJAS規格の活用方法～」

日時：6月16日（金）11:00～11:40と13:30～14:10の2回

会場：東8ホール商談室2+3

募集人員：各回90名※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナーインフォメーションで当日登録が必要

## ⑤FOOMA ビジネスフォーラム、日本酒「獺祭」の旭酒造（株）桜井博志会長が講演。

テーマ：「ピンチはチャンス! ～酒造りから海外進出、ブランディングまで～」

講師：桜井博志氏（旭酒造株式会社 取締役会長）

日時：6月14日（水）17:00～18:30

会場：会議棟1階レセプションホールA

募集人数：400名（聴講無料）※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録  
または当日東4ホール前セミナーインフォメーションで当日登録が必要

内容：山口県の実山酒蔵から世界約20か国に進出し、純米大吟醸「獺祭（だっさい）」を展開する酒造メーカーへ。多くの試練を克服し、「獺祭」を世界的なブランドへ成長させた、飛躍の過程や経営観について語ります。

## ⑥浅尾美和さん（元プロビーチバレー選手）が1日広報委員長に就任！

元プロビーチバレー選手で現在はタレントとして活躍中の浅尾美和さんが、日食工1日広報委員長に就任します。6月13日の会期初日に展示会場を視察、機関誌「ふーま」の連載記事『テーブルトーク』の公開取材を7ホールアカデミックプラザ 口頭発表会場で実施します。選手時代や子育て真っ盛りの生活を振り返り、食生活に対する思いやこだわりを語ります。

日時：6月13日（火）16:00～16:30

会場：東7ホール アカデミックプラザ内ステージ

来場者の観覧自由。

## ■学生向け FOOMA 魅力紹介企画⇒『食ビジネス』との出会いの場を提供！

将来の日本の食文化やものづくり文化を担う学生たちに、普段接する機会のない食品機械業界と出会う場を提供し、食ビジネスに興味を持ってもらうきっかけとなるよう、「学生向け FOOMA 魅力紹介企画」を実施します。学生たちが出展社の担当者と直接対話することで、WEB やカタログでは伝えられない食ビジネスの魅力を伝え、若い人の夢実現をバックアップします。

【実施日】6月15日（木）午前中を予定。

## 新ビジネス創出のヒントが…

### ★アカデミックプラザ2017★

食品および食品機械分野の総合的な発展と技術力の向上を図り、産・学・官が交流することで国民の豊かで安心できる食生活の向上に資することを目的に開催している『アカデミックプラザ』は、今年で25回目を迎えます。本プラザの大きな特徴は、国内外の大学・研究所の研究者たちがポスターセッションブースに常駐。来場者が研究者たちと直接対話できることです。

また来場者が海外の研究者たちとスムーズに対話できるよう通訳も揃えました。海外からの研究者たちとダイレクトに意見交換をすることもでき、新製品開発のヒントが得やすくなりました。

#### <ポスターセッション ⇒ 国内外の大学や研究機関が最先端の研究成果を発表！>

- 参加：国内42研究室、海外24研究室  
内容：産・学・官の交流を通じて互いの知見を深め、今後の技術開発に向けて共同研究を行う貴重な契機となっている研究発表会。食品及び食品機械分野の総合的な発展と技術力の向上を図るために、今回は国内42、海外24の合計66研究室が参加し、最先端の研究成果についてポスターやパネル等で発表（展示）します。優秀なものについてはFOMA AP賞グランプリ、AP賞が贈られます。
- 日時：6月13日（火）～16日（金）10：00～17：00 ※実演や試食を行う研究室もあります。  
会場：東7ホール アカデミックプラザ

#### <口頭発表 ⇒ 国内外の大学や研究機関が27テーマを連日発表！>

- 参加：国内24テーマ、海外3テーマ  
内容：今回のアカデミックプラザの研究発表会（口頭発表）には、国内外の大学・研究機関などが参加し、合計27テーマについて口頭で最新の研究成果などについて発表します。
- 日時：6月13日（火）～16日（金）  
11：05～15：50  
会場：東7ホール アカデミックプラザ 口頭発表会場

### ★出展社プレゼンテーションセミナー★

内容：出展企業が自社の製品・技術・サービスなどについて詳しく説明。各社の展示ブース内では得られない貴重な情報が入手でき、新規ビジネスに結びつけられる大きなチャンスです。また、セミナー終了後に参加者が出展社に質問や相談等を行うことができるスペース「ブレセミラウンジ」を設け、情報収集やビジネスマッチングをサポートします。

日時：6月13日（火）～16日（金）  
会場：会議棟6階 607セミナー会場 10:30～15:35（13日はなし）  
会議棟6階 608セミナー会場 11:00～16:05（13日は13:10～16:05）

募集人数：全セミナー各120名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナーインフォメーションで当日登録が必要

参加社：607セミナー会場～15社（15セミナー）  
608セミナー会場～18社（18セミナー）

## ★日本食品工学会 フォーラム2017★

テ ー マ：食品工業への先端技術の実装可能性を探る  
～6次産業からハイテク工場まで～

日 時：6月13日（火）10：25～16：40

会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場

募集人数：300名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー  
インフォメーションで当日登録が必要

主 催：一般社団法人 日本食品工学会

共 催：一般社団法人 日本食品機械工業会

## ★農業施設学会シンポジウム★

テ ー マ：食品製造・流通とこれからの規格基準

日 時：6月13日（火）13：00～16：40

会 場：会議棟6階 607セミナー会場

募集人数：120名

※農業施設学会に FAX で事前登録(5月25日締切)が必要。

FAX:029-838-7627 / E-mail:planning@sasj.org

主 催：農業施設学会

後 援：一般社団法人 日本食品機械工業会

## ★EHEDGセミナー★

テ ー マ：衛生プロセスにおけるハザード

講 師：Knuth Lorenzen/EHEDG 前会長  
クヌート ローレンツェン

日 時：6月14日（水）10：30～12：30

会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場

募集人数：300名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー  
インフォメーションで登録が必要

共 催：EHEDG JAPAN

一般社団法人 日本食品機械工業会

## ★AIB FOOMA特別講演会★

テ ー マ：食の安全を正確に伝える

講 師：三輪 操氏（相模女子大学 栄養科学部 管理栄養学科 教授）

日 時：6月14日（水）14：00～15：30

会 場：会議棟6階 605・606セミナー会場

募集人数：300名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー  
インフォメーションで登録が必要

共 催：AIB日本同窓会

一般社団法人 日本食品機械工業会



## ★美味技術学会シンポジウム★

テーマ：多様化・高度化する食のニーズに応える美味技術

日時：6月15日（木）10：50～15：50

会場：会議棟6階 605・606セミナー会場

募集人数：300名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー  
インフォメーションで登録が必要

主催：美味技術学会

共催：一般社団法人 日本食品機械工業会

## ★農業食料工学会シンポジウム フードテクノロジー（フーテック）フォーラム★

テーマ：本当の“おもてなし”とは？

ハラールとイスラームについて知る

日時：6月16日（金）10：00～15：35

会場：会議棟6階 605・606セミナー会場

募集人数：300名

※FOOMA JAPAN 公式サイトで事前登録または当日東4ホール前セミナー  
インフォメーションで登録が必要

主催：農業食料工学会

共催：一般社団法人 日本食品機械工業会

## ★セミナー・シンポジウム開催会場のご案内★

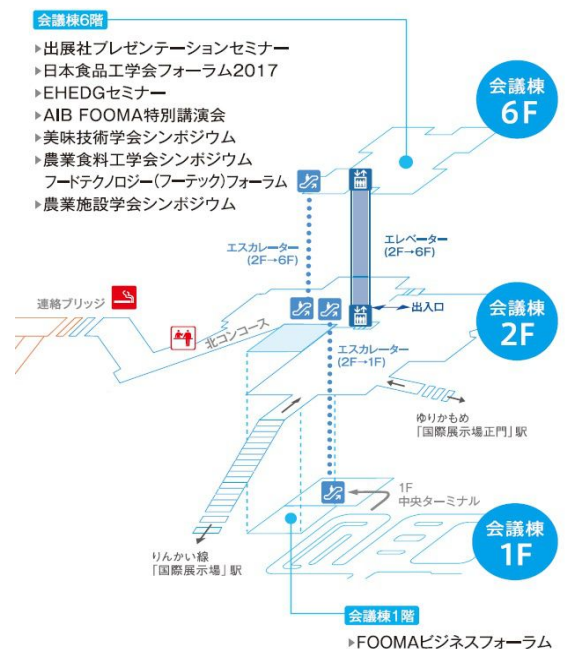
### ◆会議棟

【1F】 **レセプションホールA**  
FOOMA ビジネスフォーラム（6/14）

【6F】 **605・606 セミナー会場**  
日本食品工学会フォーラム2017（6/13）  
EHEDG セミナー（6/14）  
AIB FOOMA 特別講演会（6/14）  
美味技術学会シンポジウム（6/15）  
農業食料工学会シンポジウム（6/16）

**607 セミナー会場**  
農業施設学会シンポジウム（6/13）  
出展社プレゼンテーションセミナー（6/13～16）

**608 セミナー会場**  
出展社プレゼンテーションセミナー（6/14～16）



### ◆東展示棟

【東8ホール】 **商談室2+3**  
農林水産省 FOOMA 特別講演会（6/16）

## 来場者に優しい嬉しいおもてなしがいっぱい！

### ■スマートフォンサイトがオープン！

新たにスマートフォンサイトが4月3日にオープン。通勤途中や移動中、休憩時間などにFOOMA JAPAN公式Webサイトがチェックできるようになりました。シンプルで見やすい画面が特徴で、講演会やセミナーなどへの事前登録も可能です。

### ■Thanks40抽選会

今回で40回目を迎えるFOOMA JAPAN。来場者への感謝の意味を込めて「Thanks40抽選会」を実施。サプライズな賞品が当たるかも・・・。

日時：6月13日（火）～16日（金）10：00～16：00（受付終了）

場所：東7ホール 特設抽選所

### ■事前登録キャンペーン実施中！

入場料が無料になる事前登録を4月3日（月）からスタート。本展示会の公式サイト（<http://www.foomajapan.jp>）で受付けています。事前登録して来場した方に、抽選で毎日500名に公式ガイドブックをプレゼントします。

また、10名以上のグループの場合には、代表者1名だけの登録で全員が入場できる団体登録もあります。

### ■Wi-Fiフリースポットを東7・8ホールにも増設！

前回好評だった“Wi-Fiフリースポット”を、今年は東4ホール前インフォメーションの隣のほか、東7・8ホールリンクスペースにも開設します。

### ■製品検索サービス、各ホール入口と2箇所のインフォメーションに設置

出展社名や出展製品名が分からなくても、目的や用途にあった製品や出展社を簡単に探すことができるよう、キーワード検索機能をさらにパワーアップ。各ホールの入口と2箇所のインフォメーションに検索用PCを設置。ブース位置マップの出力サービスも行います。

### ■海外来場者向けサービスも充実！

英語版のバイヤーズガイドブックを無料配布するほか、新設の海外来場者専用インターナショナルラウンジ（東3ホール出入口横）では外国語対応スタッフがアテンドします。

また、外国語を話せる出展社のスタッフが胸に付けられるバイリンガルバッジを主催者から配布。接客スタッフに着用してもらうことで、海外からの来場者がコミュニケーションをとりやすくしました。



### ■出展社と主催者が一体となって「安全・安心のおもてなし」に取り組んでいます

FOOMA JAPANでは災害発生時を想定して、来場者の安全と安心を守るため、開幕前日に主催者と出展社が一体となって大規模な避難訓練を実施しています。

## 開 会 式

開会式は6月13日（火）9:45～10:00 東7・8ホールリンクスペースにて、「FOOMA JAPAN 2017」の幕開けとして華やかに挙行します。（前回と開催場所が違いますのでご注意ください。会場前に臨時のプレス受付を設置し、9:15から受付を行います）。

なお、東7・8ホールへは、りんかい線国際展示場駅からの無料シャトルバスが便利です。

